

特別規則書 (2026.7.23)

本大会は、皆で安全に楽しくモータースポーツを行うことを主旨とし、本イベントレース特別規則書に従って開催されます。また、皆が協力し合い、上級者の方は初心者の方などに対して配慮等のご協力も頂き、実施されていきます。なお、本規則書には最低限守らなければならないことが記載されています。記載事項以外に関してもマナー・ルール・安全意識を個々で再確認して頂き、ご参加下さい。

第1章 大会開催に関する事項

1 競技会オーガナイザー及び開催場所・日時

1) 主催：㈱ISHINO

2) 開催日時：STAGE 1 3時間(4月5日) STAGE 2 3時間(6月21日)

STAGE 3 3時間(8月30日) STAGE 4 3時間(11月15日)

※当日のタイムテーブルは変更が生じる場合がございます。予めご了承下さい。

3) 開催コース：[石野サーキット](#)

4) レース方式：[YAMAHA-MZ200](#)を搭載したカートによる耐久レース

2 大会目標

- 1) 全チーム完走。参加者全員が楽しくレースを行い、まずは完走を目指せるレース内容。
- 2) ペナルティが無いマナーのよいレースを目指しましょう。また、チーム等の境界を超えた助け合い。
- 3) 他のチームを誹謗中傷等せず、チーム一丸となり楽しいレースを目指す。

3 公式通知に関する規定

本規則に記載されていない競技運営に関する実施の細目及びドライバーに対する指示細目は、本規則書付則及び公式通知によって公示されます。なお、公示の方法は石野サーキットウェブサイト上もしくは開催時に掲示されます。

第2章 競技会参加に関する事項

1 エントリーの受付と参加資格

1) エントリー受付期間：レース開催日より1ヶ月前から1週間前

2) 参加資格：身長140cm以上でルール・マナーを守れる方。石野コースライセンス・SLライセンス・JAFカートライセンス・JAF四輪-Bライセンス以上を保持する方 ※当日までに各[ライセンス](#)は取得下さい。

※石野コースライセンスは約40分程度の講習で取得可能。(1年有効¥2,100/人)

石野コースライセンスの方は石野サーキットにて1日は走行を行った者のみ参加可能。

3) 全ての参加者は朝のドライバーズブリーフィングに参加義務づける

4) 参加人員：2名以上であれば何名でもOK!

5) 参加受付：所定の[エントリー用紙](#)を記入頂き、FAX(0565-42-1752)もしくは開催場所窓口にて受付

6) エントリー費用

参加誓約申込書、エントリーフィー(事前入金OK)を当日ご持参下さい。

2 延期、中止または取り止め及び変更に関する事項

オーガナイザーは、大会の一部あるいは全部を延期、中止、または取り止めることができます。原則として延期され、イベントの全てが取り止めになった場合エントリーフィーは全額返還されます。また、エントラント及びドライバーはこれによって生じる損失についてはオーガナイザーに抗議する権利を保有しません。なお、オーガナイザーはイベントの内容を変更する権限を保有します。これに対する抗議は認められません。

エントリーフィー

3 時間耐久	¥40,000 / チーム
--------	---------------

★ YAMAHA-MZ200 エンジンレンタル料 ¥10,000-/基※持込の場合は不要。

★ レンタル車両（シャースのみ） ¥10,000-/台 ※持込の場合は不要。数に限り有

3 エントリーの受理と拒否

- 1) オーガナイザーは理由を示すことなくエントリーを拒否することができ、かつその行為をもって最終決定とします。この場合、エントリーフィーは全額返還されます。
- 2) エントリーの受理は、必要事項の全てが明記された参加誓約申込書及びエントリーフィーが受付場所で受理された時点でオーガナイザーの参加承認が成立しますが、拒否の通知は開催日までに通知されます。
- 3) 一旦受理されたエントリーフィーはいかなる理由があっても返還されません。

4 レース車両

- 1) レース参加車両 **※フロントブレーキ禁止**

シャース規定：各一般市販品。安全上問題がないものとしリアプロテクション装着は必須とする。

- 2) エンジン

YAMAHA-MZ200 エンジン（レンタル・持込 各エンジン参加可能）（レンタルエンジン 20T のみ）

・レンタルエンジンは抽選によるデリバリー制。レンタルエンジントラブルで競技役員が認めた場合のみ1回交換だけ認めます。※貸出エンジンがその時点でない場合はこの限りではない。

・エアークリーナーはYAMAHA 純正パーツに限る。

※MZ200 パワーエアークリーナー（7DH-4401-SP）マニホールド（7DH-E440F-SP）

純正エアークリーナー（7CN-E4410-50）

エアークリーナー外れはペナルティ対象となります。

エンジンデリバリー配布時間：

開催前日 10：00～16：00・当日 8：00～9：00 抽選受付にて抽選後配布場所にて引渡。

ご案内

各ショップさまからのレンタルエンジン・レンタルシャースでもご参加頂けます。詳しくは受付窓口まで！

- 3) ウェイトハンデ制

ウェイトハンデ制を適用し、カート重量+全ドライバーの平均体重（装備込）により下記の最低重量のウェイトハンデ制とする。また女性の場合も重量計量が必要となります。

※計量の際は、SL98 登録タイヤ固定といたします。

GT-MZ クラス・・・最低重量 155kg 以上

※1 上記の最低重量に満たしていない場合はウェイト（鉛）を取付・搭載頂きます。

※2 車検時間内に計量が完了していない場合は50kgとなる

※上位3位までのチームには次戦以降ウェイトハンデで1位3kg 2位2kg 3位1kgのウェイトがプラスとなります。

最大ウェイトハンデ重量は6kgまでとし4位以下になった場合ウェイトハンデはリセットになります。

- 4) ギヤ比

GT-MZ・・・**フロント選択自由、リアは選択自由**（フロントは鉄製のみ使用可能）

（レンタルシャースのフロント20T、リア**74T**で貸出。交換自由**※実費**）

- 5) タイヤ

ダンロップ SL98

※ タイヤソフナー等のタイヤの性能向上目的の塗布は禁止。 ※ホイールキャップの装着禁止

本大会の公式車検にてレース使用タイヤ封印時には必ずすべてのタイヤ両面に自身のゼッケン No. を記入した状態でお持ち頂くようお願いいたします。

パンクなどの場合、前後各 1 本の SL98 タイヤ交換を認めます。

6) ガソリン・エンジンオイル

・ ガソリンは各自で用意するものとし、**一般市販ガソリン・一般市販エンジンオイル**指定。

※ガソリン・エンジンオイルへの添加剤等の混合は一切禁止。

7) ゼッケンナンバー

GT-MZ・・・**黄色ベースに黒文字**

※ ゼッケンナンバーは前後左右 4 箇所貼り付けのこと。

※ 字体のサイズは幅 2 センチ縦 15 センチ以上とし、確認がしづらいと判断された場合は改善指摘させて頂く場合があります。

8) 車両検査

非合法な部分がありながらも車検にて発見されなかったとしても承認を意味するものではない。レース中にそれに関する疑義が生じた場合は黒旗の指示又は賞典外になる場合がある。各ドライバーは車両検査に立ち会わなければならない。

また、カート車両と装備品類は清潔でかつ正しく整備された状態でなければならない。

※非合法とは車両・エンジンの改造等。あくまでも楽しむレースという意識でご参加下さい。

4 ドライバー装備品

肌の露出はケガの恐れがあるため、十分に注意して下さい。

1) スーツ

FIA、FMK/FIA、CIK/FIA、JAF の公認を過去に取得したレーシングスーツ又はワンピースのメカニックスーツであることとします。

※ 過去に公認実績取得したレーシングスーツを安全のため強く推奨します。

※ バイク用ワンピース革つなぎは使用可能です。

2) ヘルメット

フルフェイスヘルメットのみ使用可とします。

※ 著しい損傷・不具合等があるものは変更して頂く場合があります。

3) グローブ

4 輪・カート・バイク・メカニックグローブ又はすべり止め付き軍手を必ず着用し走行して下さい。

4) シューズ

レーシングシューズ・バイク用ブーツ又はくるぶしまで覆う運動靴を着用して下さい。

5) 無線通信機について

携帯電話や各種通信機器を使用しての走行中のドライバーとの通信は禁止となります。

第 3 章 競技に関する事項

1 フラッグ

競技中ドライバーに対する走行指示は、下記の種類の旗に従い行われます。

① 黄旗 (イエローフラッグ)

前方に危険あり、安全を確保した状態で通過せよ。追い越し禁止。

② 赤旗 (レッドフラッグ)

レース中断。ドライバーは徐々にペースを落とし徐行してコントロールライン (オレンジ色ライン) 手前にて一列で停止する。※赤旗中断中はピットイン・アウト禁止。

③ 緑旗（グリーンフラッグ）

競技再開の合図。コースクリア。

④ オレンジボール旗

指示された番号のカートにトラブル・不備が発見された場合のピットイン命令。改善必要箇所の修復後、再出走できる。

⑤ 「ピットインして下さい！」サインボード

提示された番号のカートのピットイン命令。SC 中の隊列に大きく出遅れた車両などに対して提示する場合もある。

⑥ 「SC」サインボード

セーフティーカー導入。各ポストにて「SC」サインボードを提示する。

⑦ 白黒旗

指示された番号は軽度のルール違反があり提示される。違反行為を繰り返さないようにし、競技は続行できる。

⑧ 黒旗

指示された番号はルール・マナー違反がありただちにピットインして競技長まで出頭する。

⑨ チェッカー旗

競技終了。

2 公式練習

タイムスケジュールに定められている時間内に各チーム参加しなければならない。

3 予選

各チーム計量で一番重かったドライバーがタイムアタックを行う。

4 スタート

決勝スタートはルマン式スタートとする。

スタートドライバーは予選と同じ計量で一番重かったドライバーが行う。

※エンジンを停止した状態でドライバーは乗車して待機し、補助員がスタートの合図でピットロード側から車両の元へ駆け寄り、エンジンをかけてスタートする。

5 出走台数

1) レース最大出走台数は 30 台とし、これを超える場合は先着順にて決定する。

2) エントリー台数が予定台数に満たない場合にはレース不成立となることがあります。

※15 台に満たない場合はレース不成立になる場合がございます。

6 レース中のルール

1) 走行順は登録ドライバー順とする。順番の入れ替わりはペナルティ 1 回につき 3 周減算となる。

※ドライバー走行順用紙には人数分の 1 回のルーティンを記入してください。

この繰り返しの走行とする。

2) コース進入・ピット進入の際は、必ずドライバーサインを行い走行車へ合図を行って下さい。また、大変危険ですので特にコースに進入する際はピット出口ホワイトラインカットしてはなりません。

3) コーナーは常に先入優先とし、追い抜きを行なう者は前方のカートの走行を妨害してはならず、また前方のカートは後続車の進路を妨害してはなりません。

4) オフィシャルが反則または妨害行為（故意なプッシング、ブロックングその他の非スポーツマン的行為）とみなした行為については競技長よりペナルティが科せられる。

5) レース中は、やむを得ない場合を除きコースを外れてショートカットすることは認められません。

- 6) 故意にコースから車両を離して走行することはショートカットとみなされます。
- 7) 衝突を避ける為にやむを得ずコースアウトした場合は、その最も近い場所から安全を確認して再びレースに復帰する。
- 8) レース中にコースエリア内で停止してしまった場合、他のドライバーに自分が動かないことを示さなければなりません。但し、他を妨害することなく、降車せず自力で再スタートできる場合にはレースに復帰できます。
- 9) ドライバー交替は決められた場所で行なわなければなりません。
- 10) ドライバーは工具等を携帯することはできない。またピットへ工具を取りに戻ることやピットクルーがコース内に立ち入って作業することはできない。
- 11) 事故や接触に見舞われたカートは、オフィシャルによって検査のために停止を命じられることがあります。
- 12) トラックとピットロードを区分するバリアなどに接触もしくはコースインする際の著しくラインをカットしてはいけません。危険と判断した場合や接触した場合は安全走行義務違反としてペナルティの対象となります。
- 13) ピットロードは徐行である。概ね 20km/h 以下でピット内は走行すること。
- 14) 黄旗区間（黄旗提示ポスト～トラブル地点）では追い越しの他に単独でもスピンした場合もペナルティ対象となる場合がある。

7 セーフティーカー（SC）・フルコースコーションについての規定

- 1) セーフティーカーが競技長より導入が決定された時点で、原因車両は自力復帰を禁止とする。

車両から降りるのも禁止となる。

セーフティーカー導入決定は全ポスト「SCボード」にて提示される。尚、セーフティーカー導入提示後、復帰した車両は3周+セーフティーカーが周回した数の減算ペナルティの対象となる。

- 2) フルコースコーションは以下の順序にて行われる。セーフティーカー介入決定後、直ちに全ポストはSCボードを掲示となり、フルコースコーション・追い越し禁止となる。その時点のレース先頭車両より隊列の先頭となる。セーフティーカーがコースインした際すべての車両はセーフティーカーを先頭に1列整列となり追い越しは禁止。また隊列の前車との車間距離は詰めるよう努めて下さい。但し、トラブル等で隊列についていけなくなった場合は、後続車に合図を送りラインをはずして走行できる。

※隊列に対して大きく出遅れやその恐れがある車両に対して「ピットインして下さい！」サインボードによりピットイン指示を促す場合があります。ただし、この時ドライバーチェンジはできません。SC解除後、コースに戻ることができます。

- 3) 各ポストよりSCボード提示によるフルコースコーション中のピットインはできません。また、SC導入前にピットインした車両はピット出口よりコースインできますが、コースイン後は直近の隊列最後尾につかないといけない。また、セーフティーカーが13コーナーから1コーナー間にいる場合ピットアウトできない。

セーフティーカーがピットインしメインポストで緑旗が振動（再開）表示されたら、コントロールラインよりフルコースコーションは解除されるが、その時コントロールライン（イエローライン）手前での追い越し及び前車への並びかけは禁止とする。

- 4) 決勝終了15分前からはSCの導入はございません。

オフィシャルの指示の元、車両を含め安全な場所に移動してください。

- 5) 決勝レースについてはレース時間の60%を超え（赤旗提示の1周前の周回）、再スタートが出来ないと判断した場合はレース成立として残りのピット回数分は一律マイナス3周で計算をして正式結果とします。

再スタートされる場合は赤旗が提示される1周前の順位に整列して1列ローリングスタートとなります。

※赤旗中の計測は停止いたしません。ピット回数の変更はございません。

8 ドライバー交代規定とピット規定回数

- 1) 各ドライバーは **1 スティント＝最低 1 2 分間以上最大 2 5 分まで**（前者のピットイン時間から）走行しなければなりません。（過不足-1分間毎に3周減算）セーフティーカー・赤旗中もペナルティの対象となる。

※1スティント走行時間はピット回数消化後も対象となる。

- ドライバー交代の際はエンジンを停止した状態で交代する事
エンジン不停止が発覚した場合は1回あたり3周減算となる
 - コース上よりカート回収により、パドックに戻った場合はピット回数へはカウントできません。停止したドライバーが乗車してピット一旦停止ラインを通過して下さい。
- 2) ドライバー交代の際は必ず所定の場所までピット記入表にサインを行って下さい。なお、各所定のピットイン回数以上が認められない場合は**1回あたり3周減算ペナルティの対象**となる。（書き忘れも含む）
- 3) 全チーム対象規定ピット回数＝ **3 時間耐久：10 回以上**

9 ドライバーサイン

- 1) ドライバーサインは次の通りとし、これを怠った者に対してはペナルティを課することがあります。
- (a) コース上で停止した場合は、両手を高く振り、他の走行車両に合図する。
 - (b) ピットイン、ピットアウトする場合は必ず他車にわかるよう片手を頭上位置より高く上げる。

2) ピットインのドライバーサインを出した場合は必ずピットインをしなければならない。

10 完走

- 1) 完走者は、レースの着順1位の者がフィニッシュラインを通過後に5分以内に自走して同ラインを通過するか、トップチームの周回数の60%以上走行したチームとします。
- 2) フィニッシュライン（各計測ライン含む）を通過する際には、ドライバーとカートは一体となっていないければなりません。
（エンジン動力で進んでいない、マシン回収時等は周回としては認められない。）
- 3) ドライバーはゴールラインを通過後徐々にスピードを落とし（追越しは禁止）正規のコースを走行してピットインしなければなりません。
- 4) 完走者となった車両のみが入賞の対象となります。
- 5) 規定の時間を終了する以前に誤ってチェッカー旗が表示された場合は、その時点をもって競技終了とします。また遅れて（時間）チェッカー旗が表示された場合は、チェッカー旗とは無関係に、競技は規定の時間で終了したものとして順位が決定されます。
- 6) 完走者の上位3位までは再車検を行う。

11 抗議

- 1) いかなる場合も抗議は原則として受け付けないものとする。

12 その他の事項

- 1) 場内での喫煙・火気使用について

場内にての喫煙に関しましては施設が用意した灰皿がある指定喫煙場所のみとなります。また、パドック内は特に発火の恐れのある危険物も多い為、火気使用については十分注意頂き必ずお守り下さい。

なお、指定場所以外での喫煙が発見・発覚した場合は関係するチームへ下記のペナルティが科せられます。

◇指定場所以外での喫煙を発見・発覚した場合：決勝周回数より減算10周。対象者は退場となる。

- 2) 走行中にブレーキが効かなくなったりコントロールができなくなった場合はアクセルを踏まずにコース内で停止してください。ピットには絶対戻ってこないこと。

3) ランダムで再車検を行う場合がある。

第4章 損害補償

1) 損害補償の責任について

主催者および大会役員の業務遂行により起きたドライバー、ピット要員の死亡、負傷および車両の損害に対して主催、後援、協力、協賛するものおよび大会役員は一切の補償責任を負わないものとする。

2) SL0 スポーツ安全保険の推奨

SL0 スポーツ安全保険は(財)スポーツ安全協会が契約者となる、東京海上火災保険(株)を幹事会社とする損害保険会社10社との間に傷害保険を一括契約する。このSL0 スポーツ安全保険の加入を推奨する。

第5章 成績および賞典に関する事項

1) 成績決定及び賞典

① 決勝ヒートの順位によって決定する。

② シリーズ

1) 石野サーキット主催においてシリーズポイントが与えられる。

2) 石野サーキット主催の全4戦中3戦のポイント有効とする。

③ シリーズポイント

本大会にてドライバーに与えられる得点は、次の得点基準を適用する。

1) シリーズに有効ポイントが与えられる。

2) 最終戦(第4戦11月15日)のシリーズポイントについては通常ポイントの1.5倍で加算される。ポイントは十分の一の位まで有効ポイントとする。

○得点表

順位	得点	順位	得点
1	20P	6	6P
2	15P	7	4P
3	12P	8	3P
4	10P	9	2P
5	8P	10以下	1P

④ シリーズ賞典

シリーズ終了後、同ポイントの場合は以下の判定基準で判定するものとする。

1) 上位入賞回数の多い者を上位とします。

2) 1) でも決定できない場合は最終戦の順位で決定するものとする。

3) 2) でも決定できない場合はポイント取得の早い順で決定するものとする。

車両規定違反等に関しては過去も含め自己認識(メカニック・エンタラント含む)の上、行われていた事実が発覚した場合には、それをさかのぼってポイント剥奪・各賞金等の返還・エンジンの組付け代を要求することがある。